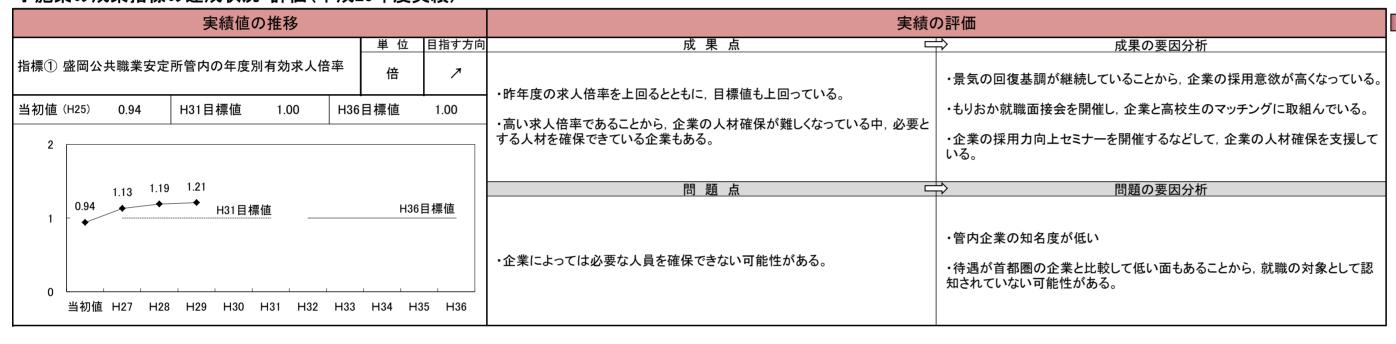
【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
・盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率は、東日本大震災の復興需要や各種施策の実施など 27年6月以降、1.0倍を越えて推移しているが、正規雇用の求人が少ないことや、求人側と求職者側 一致しないミスマッチが課題となっている。このため、学校や盛岡公共職業安定所等の関係機関と 援が必要となっている。	側の二一ズが
・新規学卒者の就職内定率は改善されてきたが、就職できないまま社会に出る若年者も少なくない 元雇用の確保や既卒若年者でも就職が可能となる環境の整備が必要である。	ンことから、地 若者の就労が円滑に図られるように、地元企業の紹介などにより、求職活動を支援するとともに、地元雇用の場の拡大に向けた取組みを推進する。
・全国的に、卒業後3年以内に離職する者の割合は、高校卒で約4割、大学卒で約3割と高い水準に1年以内の離職率が高くなっていることから、働くことの意義や職場定着への理解を深める支援をある。	
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
求職者, 企業	地元で就業しやすくなる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)



今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性 ★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討

★ UIJターン就職支援事業により,企業の採用力向上に資するセミナー等を 実施している。

☆1 セミナーを受講していない企業の採用力向上に向けた新たな事業の実施に向けての検討